

豊かな心を育む

岡垣町では豊かな自然環境を生かし、自然体験や農業体験、海岸の清掃活動などを通して子どもたちの自主性や主体性を伸ばすとともに、郷土を愛し自然を守る心や奉仕の心を育んでいます。また、公民館講座など住民の生涯学習活動が活発に行われています。町の文化スポーツの拠点施設「岡垣サンリーアイ」は、約600人収容のホールやスポーツイベントなどに利用できるアリーナ、図書館、フィットネスクラブなどを備えており、各種講座やスポーツなどでたくさんの方が集い、日々新たな出会いが生まれています。

充実の設備、ここにあります

三里松原の「さんり」とふれあいの「あい」から名付けられた岡垣サンリーアイは、文化スポーツの多目的複合施設です。多くの文化講座が催されているほか、ホールではコンサートや講演会などが開かれ、アリーナは、国内・国際レベルの公式試合も行える設備を誇ります。また、全面ガラス張り、芝生公園や孔大寺の山並み、四季の移り変わりを見渡しながら運動できるフィットネスクラブは町内外から訪れる利用者で賑わっています。一方、木製の書棚が並ぶ図書館は、あらゆる年齢層の人たちに利用される開放的な知的空間。蔵書数は9万冊を超え、図書館まつりや読書会、おはなし会などの催しも定期的に行われています。



体験を通して学ぶ



岡垣町には5つの小学校、2つの中学校があります。地域によって児童生徒数には差があり、児童数の減少が進んでいる内浦小学校と戸切小学校では、町内他校区からも通学できる特認校制度を設け、地域の環境を生かした教育活動を展開しています。また小・中学校全校で学校給食を実施し、栄養バランスのとれた安全な給食を提供。地産地消にも積極的に取り組み、地元生産者の協力による体験学習などを通して、町の豊かな農水産物に対する理解を深める食育を推進しています。

さらに、人と人とのふれあいを大切にする岡垣町では、気候・風土・生活習慣の異なる長野県上田市真田町の子どもたちとの国内短期留学事業を平成3年度から実施しています。

ひと

紙の絵本で伝えたい



インタビュー
動画はこちら

絵本は子どもの成長にとって大切な役割を担っています。子どもは言葉で伝えることと同じように、絵本からさまざまなメッセージを受け取ります。岡垣町で創作活動をする松本さんが最初に絵本と出会ったのは、旧満州(現 中国東北部)から引き揚げて北九州市の学校でのことだそうです。

「戦後の物の無い時代の子どもにとって、絵本は貴重でした。その後、高校で文芸部に入部したことが、創作を始めるきっかけでした」



松本 梨江さん

童話の読み聞かせが盛んな町。

創作意欲も湧いてきます

夫の転勤で、赴任地を回る日々の中、サトウハチローさん(詩人、童謡作詞家、作家)の主催する同人誌「木曜手帖」に投稿するようになり、後に日本児童文学者協会北九州支部児童文学誌「小さい旗」で積極的に作品を発表するようになります。

「小さい旗」で発表した作品が保育書籍の出版社に認められ、幼児向け絵本雑誌『月刊こどものくに』に掲載され本格的な創作活動が始まりました」

その後は文研出版社などの児童図書出版社から数多くの創作童話を出版。その作品の多くが岡垣町での暮らしから影響を受けたといえます。近年では岡垣町ふるさと大使である、木版画家のえもときよひこさんの絵とコラボレーションした「らっしやい！」(石風社)を出版。県の推薦図書にも選ばれています。

「同じ岡垣町に住むえもとさんは、以前からあこがれの作家さんでしたのでお願いをしました。岡垣町は童話の読み聞かせが盛んな町。自然と創作意欲も湧いてきます。読み聞かせの本の一つとして子どもたちに知ってもらえたらいいですね。電子書籍の時代と言われますが、読み聞かせはできないですよ。やっぱり紙の絵本を子どもたちに伝えたいと思っています」

と話します。



クリーンアップサンリー海岸

郷土を愛し、自然を守り、奉仕の心を育てることを目的に、町内の小・中学生による海岸清掃を毎年実施しています。



サーフィン体験(内浦小学校)

学校の近くに海があるという特性を生かし、授業の一環として波津海水浴場でのサーフィン体験を行っています。

水中生物・水質調査

学校の近くの川や海にいる生き物をもとに水質を調べながら、身近な生き物や自然環境を学びます。



国内短期留学事業

文化・環境・生活習慣の異なる地域の子どもと生活を共にすることにより、ふるさと岡垣を見つめ直し、さまざまな体験を通してジュニアリーダーを育成する事業で、長野県上田市真田町と隔年で相互訪問しています。小中学生20人程度が研修生として参加。長野県を訪問したときはホームステイやスキー体験などを行います。



通学合宿「夢の体験塾」

小学4～6年生を対象とした約1週間の通学合宿。塾生はそれぞれの家庭を離れ、「ふれあい宿泊施設若潮荘」で集団生活を行います。食事・掃除・作業班に分かれ、班長を中心に行動しながら自主性や主体性を身に付けるとともに、友だちや家族の大切さを再認識していきます。